

玉村町 文化財通信

2023年9月7日発行

(次号10月発行予定)

第17号



～らよっとそこまで古探訪～



玉村町歴史どうぶつ散歩 Vol.16

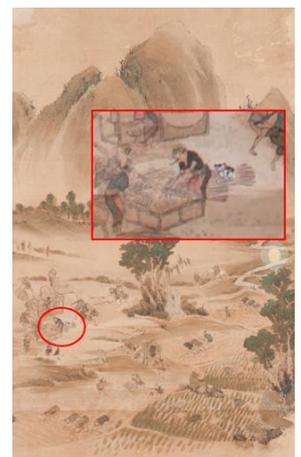
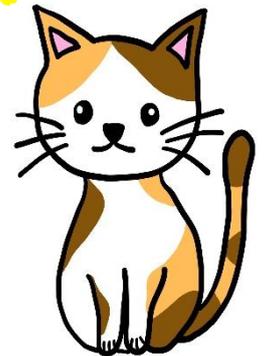
Vol.15・16 と2ヶ月にわたり、幕末の文人画家・千輝玉齋ちきりぎよさいの作品に描かれたどうぶつたちを紹介します。今月 Vol.16 では『豊年満作之図』ほうねんまんさくのず(当館蔵)に登場するどうぶつです。

『豊年満作之図』は、4幅からなる日本画で、幕末において玉村随一の文人画家千輝玉齋が描いた代表作の一つです。(千輝玉齋については、先月号をご覧ください) 稲作の過程を基本に農作業の様子や周辺の風景が巧みに描かれています。

4幅ある作品のうち第3面には、「田で草取り」・「稲刈り」・「脱穀」・「米粒と粃殻の選別」などの様子が描かれています。そのなかに千歯扱ちきりで脱穀する男性の足元に、ちょこんとお座りをし、作業の様子を見守る可愛らしい一匹の猫が描かれています。その猫の首には、赤い布のようなものが巻かれています。もしかしたら、作業をしている男性の飼い猫なのかもしれません。

猫は、稲作の始まった弥生時代から穀物倉庫のネズミ退治の番人として活躍していました。江戸時代になると、病原菌などを運ぶネズミの退治にもなります。女性に人気のペットとして、絵画や浮世絵には身分が高い人の妻や芸者とじゃれるように描かれた猫が登場します。

江戸時代前期に描かれた絵画の猫は長尾ですが、江戸時代後期の浮世絵には短尾の猫が多くなります。江戸時代は短尾の猫が流行し、日本の風土に適應した土着の日本猫になりました。



古文書講座を実施しています！

歴史資料館では10月から3月まで古文書長期講座を実施します。大変人気の講座で、すでに定員満員となっております。上級者向けの講座ですが、精通した先生の下で仲間と一緒に取り組めば、ぐっと理解が深まるでしょう。

資料館には未整理の古文書がまだまだあって、これらを整理して後世に残すには皆さんの力が必要です。古文書を後世に残すには、保管場所の確保だけでは不完全です。古文書に興味があり、少しでも読める人がいてこそ、後世に残すことが出来ます。

冬には入門編の開催を予定しています。興味ある方はぜひご参加ください。

重田家住宅

～公開・活用にむけて⑰～

引き続き月二回程度、早朝にボランティア御一同様と敷地内の雑草除去を実施しています。

また、7月31日夕方に発生した雹と突風により、「穀蔵」の北東側トタン屋根が全て剥離落下、下地の板材がむき出しになっています。蔵収蔵資料の整理や修繕等、適切に今後の対応を実施していきます。来場される皆様には少しご不便をお掛けしますが、ご理解・ご協力を宜しくお願いします。(重田家住宅管理担当者)

今年度通常公開情報：平日の水・木・金曜日、毎月第4土曜日 10:00～16:00(最終入館は15:30まで)なお、夜間の催事等はその都度対応します。都合により臨時休館あり。

文化財・歴史資料館 情報

9/23
(土)

重田家住宅活用提案事業 お医者のお民家 重田家住宅でむすぶ 医食同源 親子でおむすび教室

体にやさしい塩おむすびを作ります。
時間：午前10時～午後1時
参加費：200円（材料費・保険代等）※当日集金
持ち物：エプロン、飲み物、タオル
定員：先着15名
場所：重田家住宅（玉村町小泉42）
主催：たまむら食の探検隊
申込：8月28日（月）より下記メールアドレスにて
受付。名前、住所、連絡先、年齢をお知らせください。
⇒shokunotanken@gmail.com
問合せ先：玉村町住民活動サポートセンターぱる
0270-65-7155

9/29
(金)

重田家住宅 お月見会 ～中秋の名月を眺めよう～

時間：午後6時30分～8時30分
場所：重田家住宅（玉村町小泉42番地）
内容：◆紙芝居（月にまつわるお話）
玉村町図書館協議会委員 片亀歳晴氏
18:30～19:00 主屋
◆月の観望会 松本陽治氏
（雨の場合は、主屋にて星のお話）
19:00～20:00 天体望遠鏡で月を眺めてみよう！
◆お月見団子の無料配布（限定30個） なくなり
次第終了です。
入場無料※事前申し込み不要
協力：まちづくり玉村塾
主催：生涯学習課文化財係

スタンプカード
対象事業



まちづくり玉村塾主催 燈籠宵まつり

開催日：10月7日（土）
時間：17:30～19:00
場所：玉村八幡宮（下新田1 65-2305）
玉村八幡宮境内に手作りペットボトル灯籠を飾る
ほか、舞楽や雅楽、巫女の舞も予定しています。
入場無料
キッチンカー出店あり
荒天中止



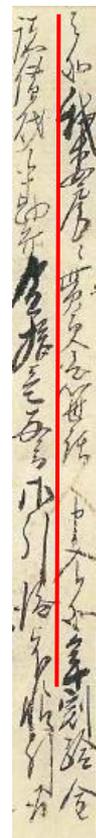
過去の様子

古文書を読んでみよう！

幕末の玉村の中心的人物であった渡邊三右衛門陳好の記録である『三右衛門日記』の中の「女子引取一札」を毎回少しずつ読んでいきます。
第十七回目はこの文章を読んでいきましょう。

書き下し文：年割給金・諸借財御勘弁金壹両二而御引渡被下、読み方：としわりきゆうきん・しよしゃくさいごかんべんきんじゅういちりょうにておひきわたしたくされ、現代語訳：、年々に割り当てられている給料・もろもろの借金を免じていただき、十一両のお金でお引渡しくたされ、（次号へ続く）

○玉村町誌別巻Ⅳ（三右衛門日記一）～別巻Ⅴ（三右衛門日記五） 歴史資料館にて好評発売中！



☆ 発行 ☆

玉村町生涯学習課文化財係・玉村町歴史資料館（電話）0270-30-6180
☎370-1105 群馬県佐波郡玉村町大字福島 325 番地 玉村町文化センター内

